

(様式第4号)

上田市男女共同参画推進委員会 会議概要

1 審議会名	上田市男女共同参画推進委員会
2 日時	平成28年7月11日 午前10時00分から午前12時30分まで
3 会場	上田市市民プラザ・ゆう 2階 教養室
4 出席者	古田睦美会長、清水久夫副会長、岩野威生委員、竹田貴一委員、竹花みい子委員、田中晋委員、橋詰真由美委員、若尾伸子委員
5 市側出席者	柳沢人権男女共同参画課長、佐藤課長補佐兼武石市民サービス係長、久保田課長補佐兼男女共同参画係長、糸魚川(株式会社めいほう)
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	1人 記者 *人
8 会議概要作成年月日	平成28年7月12日

協議事項等

1 開会(柳沢課長)
2 あいさつ(古田会長)
3 協議事項
(1) 第3次男女共同参画計画の概要について
ア 計画策定にあたって(目次、第1章)
・資料に沿い、久保田係長、糸魚川から目次及び第1章について概要を説明
・以降、協議
(会長) ・国などの一般情勢については、このとおりなのだが、上田市としてどうなのかという記述が少ない。上田市の個性を盛り込んだものがほしい。
・合併により、農山村部が多くを占めるようになった。県の計画では、「多様なライフスタイルを実現できる信州」を基本目標としている。上田市も農山村部の地域おこし、農業等にかかわる女性の起業支援を充実させていく計画とする必要がある。
(委員) ・「登用率40%を超え」という数値目標に関する文言だけでなく、それが男女共同参画意識が醸成や女性の人材育成の成果であることも加えた方がよい。
(事務局) 「3.計画策定の背景」を中心に上田市の特徴も加えていく。登用率については、目標を設定して取り組んできたもので、意識の醸成や人材育成については、計画の中身の中で述べていく。
イ 計画の基本的な考え方(第2章)
・資料に沿い、久保田係長、糸魚川から第2章について概要を説明
・以降、協議
(委員) ・上田市民全体の育児休業取得率の推移や、市職員の男性の育児休業の取得率はどのようになっているのか。重点的取組や目標を設定する際、それを資料としてはどうか。
・男性と地域とのつながりを見直していく必要がある。男性にとっての男女共同参画も重点的取組や目標の中に設定する必要ではないか。
(会長) ・若い世代はナチュラルに男女平等をやっている。地域づくりの視点から男女関係なく関わることが大切だ。
(委員) ・男女共同参画は個人の意識の問題にされがちであるが、ヨーロッパなどでは、行政が戦略的に施策で社会に働きかけている。本計画にそのような視点がほしい。
(会長) ・男性の育児休業を進めるためにローンの貸付事業を行っている市町村もある。上田市も啓発や呼びかけだけでなく、何か一つでも実効性のある事業ができるといい。
(委員) ・貧困化の問題は、貧困層の社会参画を困難にさせ、男女共同参画を進める上でも障害となる。特に非正規雇用労働者に女性に多いことと大きく結び付いている。計画にそ

の視点が必要だ。

- ・重点的取組にワーク・ライフ・バランスを入れていないのはどういる理由からか。
- ・自治会の役員の女性登用率の低さは、女性が役員になりたがらないことも一つの理由だ。特に、女性役員の前例が少ないことも女性になりたがらない理由ではないか。
- ・女性が役員になるためには家族の協力があるかないかの問題が大きい。女性登用率の低さを女性のせいにするのではなく、家族が協力してくれるような社会にする取り組みが重要だ。また、先駆的な前例を作るために男女共同参画の委員から率先して女性が役員になる取り組みをしてきた。
- ・育児休業取得率については、「子ども・子育て支援事業計画」策定の際のアンケート調査や「次世代育成上田市特定事業主行動計画」の目標値の達成状況の資料があるので、用意したい。また、ワーク・ライフ・バランスについては、(1)の「女性活躍の推進と雇用環境の改革」の課題として含まれる。
- ・次回までに、いただいた御意見をもとに「第2章」の文章を整理したい。

(会長)

(事務局)

ウ 施策の体系(計画骨子)

- ・資料に沿い、久保田係長、糸魚川から「施策の体系図」について概要を説明
- ・以降、協議

(委員)

- ・待機児童が社会問題となっているが、上田市の状況はどうか。保育行政の資料がほしい。

(会長)

- ・本計画案の基本目標1は、経済・雇用分野に関する目標となっているが、雇用や経済に関しては主として国や県が施策を行う領域が多い。県の計画では、1番目に経済・雇用分野に関する目標を定めているが、市町村計画においてもそのようにする必要はないと思う。本案の基本目標1と2を一緒にすることも可能だが、どうか。

(委員)

- ・雇用に関して言えば、育児休業については社員側のメリットだけでなく、企業側も経験や実績のある社員が必ず復帰してくれるというメリットに注目し始めている。市が企業に働きかけることで、育児休業を取りやすい環境整備が進むと考えられる。

(会長)

- ・2次計画の基本目標の設定はよくできているが、本案はそれに比べて目標がぼやけている。
- ・基本目標1を「経済」、2を「参画」、3を「地域づくり・暮らし」、4を「意識」に整理したらどうか。その上で1にワーク・ライフ・バランス、チャレンジ、起業支援や男性の育児休業取得を盛り込むとよい。地域づくりの中で生じるイノベーションも加えるとよい。
- ・また、1の(3)農山村については、起業支援と地域おこしに分けて1と3へ、2の(6)防災、環境、観光については防災を3へ観光を1へ、2の(7)人権としての性については4へ組み替えて整理してはどうか。
- ・条例に「教育関係者の責務」を盛り込んでいることが上田市の特徴の一つであることから、教育分野に関する計画をもっと充実させる必要がある。

(事務局)

- ・次回までに、いただいた御意見をもとに「施策の体系図」を整理したい。